

歴史の散歩 (4)

碑板



虫生 路傍板碑

現在、板碑は新井(路傍)二基、宝米(明光院)一基、二又(青年館)一基、小川台(隆台寺)一基、台(宗龍寺)二基、虫生(路傍)一基、小田部(路傍)一基、芝崎(西蓮寺)三基、宮内(実藏院)一基、山柄(不動院)一基の十四基が確認されています。一部が町の文化財に指定されています。これらはすべて「下総板碑」の部類に入り、板状の石に仏像を表わす種子(梵字)天蓋、蓮座が彫られていて、材石に銚子石、飯岡石、筑波山系の黒雲母片岩を使用しています。板碑は、全国各地に存在し形態、材石、分布地によって分類されており、千葉県には、北総一帯に分布している「下総板碑」と東葛方面に多い「武蔵板碑」とがあります。

種子の他に、地藏菩薩などの画像、南無阿弥陀仏の名号、南無妙法蓮華經の題目を彫り込んだものもあり、当時の信仰の様子を知ることができます。故人の冥福を祈る追善供養と自己及び集団で後生安樂を祈る

ライスセンター協定料金変更

町内ライスセンターの協定料金は、原油価格の値上りにより、左表のとおり変更になりましたのでお知らせします。

種別	単位	変更前	変更後
刈取り調整	10 a	二六、〇〇〇円	二七、〇〇〇円
バインダー	10 a	七、五〇〇	七、七〇〇
ハーベスター	10 a	九、〇〇〇	九、三〇〇
コンバイン	10 a	一五、〇〇〇	一五、五〇〇
糶すり	1 俵	四〇〇	四〇〇
乾燥調整(生乾)	1 俵	一、三〇〇	一、四〇〇

逆修供養を目的として造られ現在確認されているものだけでも鎌倉時代中期から江戸時代初期にわたって建立されています。光町にあるものは、ほとんど年号がはっきりせず宝米明光院の貞和四年(一三四八年)から室町時代までが確認されています。

虫生入口にある板碑(高さ一三七cm、幅七〇cm)は坂田(横

年金

国民年金保険料の特例納付が困難な家庭で千葉県世帯更正資金の借受条件に当てはまる家庭は、保険料の特例納付に要する費用を借受けることができます。

世帯更生資金を利用できます!

十五万円までとする。貸付利率は年三%です。申込手続

担当地域の民生委員を通じて厚生課福祉係へ申し込んでください。くわしくは、厚生課福祉係へおたずねください。

有線 二〇四一〇三

芝町)の金時が投げた石と語り伝えられているように本来の建立目的から離れ別な意味を持って現存している事もあります。

これらのほかに所在をお知りの方は、総務課企画係へお知らせください。

有線 二〇二一〇三 電話 (四)一一一一

慶吊

八月十五日現在受付(敬称略)

◎お誕生

- 〈部落・赤ちゃん・父親・続柄〉
- 原方 佐藤 直子 治男 長女
- 谷中 林 真知子 一敏 長女
- 木戸 山内 善弘 勇 二男

町の状況

〈8月1日〉

人口	男 5,799 (+10)
	女 5,908 (+1)
計	11,707 (+11)
世帯	2,845 (+4)

()内は前月比

- 篠本 越川 文子 茂 長女
- 虫生 信田 充 市郎 次男
- 辻 小川 雅央 秀雄 長男
- 篠本 増島 涼子 行夫 二女
- 尾垂 伊藤 大輔 正晴 長男
- 篠原 竹内 友枝 二郎 長女
- 白磯 浅野 誠 幸男 長男
- 小田部秀島 梨江 潤 三女
- 橋場 中林 里歌 順二 長女
- ◎結婚
- 〈部落・氏名・性別・年令〉
- 篠本 増島 弘一萩原恵美子
- 五ノ神 鈴木基之山崎寿美子
- ◎おくやみ
- 〈部落・氏名・性別・年令〉
- 谷中 伊藤 静子 女 55才
- 古屋 水須 やす 女 84才
- 二又 越川 よし 女 71才
- 新井 伊藤 なか 女 78才
- 辻 早川興四郎 男 77才
- 作間内 向後 あさ 女 79才
- 宝米 土屋徳太郎 男 82才
- 篠本 青柳要三郎 男 80才
- 篠本 増島 利一 男 82才